

第54回全国代表者会議を開催！

新たな理念・名称・活動の方向を確認！！！！



核兵器禁止平和建設国民会議(核禁会議)は、平成26年1月24日(金)、日産労連ゆらいふセンター(東京都港区)において、第54回全国代表者会議を開催した。

本代表者会議には、全国の地方組織および加盟組織等から約200名が参加し、新たな時代に対応するための『新たな理念・名称・活動の方向』を確認した。



加藤議長



落合議長代行

本代表者会議の冒頭では、主催者を代表して、加藤秀治郎議長より「東京都知事選挙の争点が「脱原子力」となっていることを受け、これまで原子力の平和利用に積極的な姿勢を持って活動してきた経緯から当該選挙を注視したい」旨の挨拶を受けた。

また、多くの来賓の方々にご臨席いただき、挨拶をいただいた後、新年度の活動について論議した。

『新たな理念・名称・活動の方向』における具体的な内容として、運動の基本理念については、公の立場に立って不正義を正し、建設的な運動で公正・安全な社会を実現し、特定イデオロギーおよび政治勢力の支配を受けることなく、いかなる国の核兵器・核実験にも反対するとともに、原子力の平和利用を推進し、自己中心的な願望的な平和主義ではなく、平和建設の意志を堅持し、日本の平和および世界平和に寄与することを確認した。

また、今後の活動の方向については、従来の活動に併せ、「核兵器廃絶に向けた取り組み」、「地球温暖化の防止、日本経済の安定的成長、国民生活の持続的な安定を念頭においた総合的エネルギー政策の確立」、また「平和を建設する意思を持った運動」を展開していくことを確認した。

併せて、名称については、廃絶への道のりに横たわる国内外の基本問題等にも関与し、その克服に取り組むために、結成当初（1961年）から53年が経過した今日まで使用してきた『核兵器禁止平和建設国民会議（略称：核禁会議）』から『核兵器廃絶・平和建設国民会議（略称：KAKKIN）』への変更を確認した。

この他に、平成25年度主要活動等および2013年海外視察（特別報告）を確認し、平成26年度の活動における具体的な取り組みおよび年間活動計画等を確認した後、加藤議長のガンバロウ三唱を行い、平成26年度の活動をスタートした。



ガンバロウ三唱（全体風景）